

授業科目名称 : 学際連携と地域の理解

授業コード : 32005

授業科目英文名称 : Interdisciplinary Studies and Regional Understanding

|                                                       |     |     |        |
|-------------------------------------------------------|-----|-----|--------|
| 開講期間                                                  | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期                                                    | 1   | 2   | 選択     |
| 担当教員                                                  |     |     |        |
| 小田和人、落合和昭、浦郷淳、張美慶、久田貴幸、梅野潤子、椛島力、高崎伸也、末廣真理恵(実務経験のある教員) |     |     |        |
| 展開方法                                                  |     |     |        |
| ナンバリング                                                |     |     |        |
| 添付ファイル                                                |     |     |        |
|                                                       |     |     |        |

| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標                                                                                       | 評価手段・方法                   | 評価比率      |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|-----------|
| 専門力            | 本学の専門分野の概略を理解できる。<br>(第2・3・4・5・6・7・10・11・12・13・14・15回目)                                             | 課題レポート                    | 72%       |
| 情報収集、分析力       | (1) 自分の専門分野だけではなく他の専門分野についての情報を意欲的に収集することができる。(第8・9回目)<br>(2) 他の専門分野との連携とその見通しについて意見を述べるができる。(第1回目) | 課題レポート<br>学生態度・参加度・課題レポート | 10%<br>3% |
| コミュニケーション力     | 自分の意見を発信し、他者との交流を行うことができる。(各回)                                                                      | 学生態度・参加度                  | 15%       |
| 協働・課題解決力       |                                                                                                     |                           |           |
| 多様性理解力         |                                                                                                     |                           |           |
| 出席             |                                                                                                     | 受験要件                      |           |
| 合計             |                                                                                                     | 100%                      |           |

|                      |                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |       |      |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-------|------|
| 授業のねらい               | 学間連携の概念や実践的な手法を理解し、地域社会における課題解決に学際的アプローチを適用する資質・能力の育成を目指す。<br>1. 本学に設置された4学科の専門分野の概略や課題について説明することができる。<br>2. 自分の専門分野と他分野が連携することで広がる可能性について、考えを整理することができる。<br>3. 地域における課題を見つけ、解決方策を考える活動に自発的・積極的に参画することができる。<br>4. 専門性や考え方の多様性を尊重し、相互に認め合い、発言、傾聴、検討する役割を担うことができる。 |     |       |       |      |
| アクティブラーニングの類型        | ② ④                                                                                                                                                                                                                                                              |     |       |       |      |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明   | 評価は各ユニットに対してレポートを課し、合算した点数により科目の成績とする。<br>レポートのテーマや提出方法、フィードバック等については、各担当教員により授業内で指示する方法により行う。                                                                                                                                                                   |     |       |       |      |
| 授業概要                 | 本学4学科の専門分野の構成と研究アプローチの視点、社会的な活用状況、活躍する分野、課題についてユニット毎に概説し、分野間の連携事例等を提示し、専門分野に対するモチベーションや課題意識の向上を図る。<br>また、専門職連携で活躍する外部講師の話を聞き、実社会で連携する場合の可能性や課題等について理解を深める。<br>ユニット毎に学際連携に関するテーマでレポートを課す。<br>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。                                    |     |       |       |      |
| 教科書・参考書・指定図書         | 教科書：特に指定しない。参考書：特に指定しない。<br>指定図書：各担当教員により授業中に指示する。                                                                                                                                                                                                               |     |       |       |      |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | ・日頃から新聞・ニュース等を見聞きし、実際の地域の経済・文化・医療・福祉など「いのち、健康、暮らし」にまつわる情報や課題について関心を高めておく。<br>・専門の異なる他学科の学生と交流することで、多様性を理解し、幅の広い視野を持つようにする。<br>・学科間の結びつきや学問と職業のつながりを意識することで、卒業後に職業人として活躍することや専門職で連携をとることの意味を理解する。                                                                 |     |       |       |      |
| 授業計画                 | 回                                                                                                                                                                                                                                                                | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 | 担当教員 |
|                      |                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |       |      |

|    |                                   |                                                                                                                 |                                                              |                                            |
|----|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 1  | オリエンテーション                         | ・学際連携の基本的な概念、地域社会における問題解決の重要性を学ぶ。<br>・科目の目的、授業の進め方、受講する心構え、評価について知る。                                            | 予習：シラバスを確認する。<br>復習：学修の進め方を確認する。                             | 小田和人・落合和昭・浦郷淳・張美慶・久田貴幸・梅野潤子・柊島力・高崎伸也・末廣真理恵 |
| 2  | 福祉の専門性と社会福祉・地域への関わり<br>《社会福祉学科》学際 | 福祉の専門性を知るとともに、福祉の専門資格者の業務を通して、社会福祉・地域との関わりについて理解し、課題と対応策を考える。                                                   | 予習・復習：社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の概要を調査・整理する。                        | 久田貴幸                                       |
| 3  | 子どもの権利と暮らしの支援<br>《社会福祉学科》学際       | 社会福祉の一領域である児童福祉に着目し、子どもの権利の歴史や権利条約、それを護るための暮らしの支援の実際について学ぶ。                                                     | 予習・復習：子どもの権利とそれを護るための支援について整理・考察する。                          | 梅野潤子                                       |
| 4  | 地域福祉との連携<br>《社会福祉学科》地域            | 地域共生社会に関する現状を学び、福祉ニーズを抱える人々が暮らしやすい地域をつくる為に何が必要かを考える。                                                            | 予習・復習：障害者総合支援法および社会における福祉ニーズについて調査・整理する。                     | 久田貴幸                                       |
| 5  | 薬学の専門性と身近な医薬品<br>《薬学科》学際          | 薬学の専門性を知るとともに、競技スポーツにおけるドーピング問題、食物との相互作用などを学び、身近な医薬品を正しく使用方法について学ぶ。                                             | 予習：身近な医薬品について興味を持って調べる。<br>復習：医薬品を利用する時の注意点について整理する。         | 末廣真理恵                                      |
| 6  | 健康診断の検査値の読み取り方<br>《薬学科》学際         | 健康診断の検査値の読み取り方をそのもととなるからだの仕組みから検査値が変化する仕組みまで学ぶ。                                                                 | 予習：自身の健康診断の結果を確認しておく。<br>復習：生活改善法を考える。                       | 高崎伸也                                       |
| 7  | 地域医療との連携<br>《薬学科》地域               | 少子高齢化が急速に進行するなかで、「地域医療」が推進されている。本講義では、長崎県や佐世保市の人口動態などを踏まえた地域医療について考える。                                          | 予習・復習：地域医療、医療の地域偏在について調査・整理する。                               | 柊島力                                        |
| 8  | 外部講師<br>ゲストスピーカー講話 1<br>学際        | テーマ（例）キャリアとしての学際連携<br>外部講師やゲストスピーカーにより実社会の現状や課題について話を聞く。                                                        | 復習：ゲストスピーカーからの講話に関して考察をまとめる。                                 | 浦郷淳                                        |
| 9  | 外部講師<br>ゲストスピーカー講話 2<br>学際        | テーマ（例）学際連携から見るジェンダー問題<br>外部講師やゲストスピーカーにより実社会の現状や課題について話を聞く。                                                     | 復習：ゲストスピーカーからの講話に関して考察をまとめる。                                 | 浦郷淳                                        |
| 10 | 健康と食事のバランス<br>《健康栄養学科》学際          | 健康栄養学の専門性を知るとともに、食事バランスガイドを基に、食事のバランスについて学び、その量・質的偏りによる体への悪影響（生活習慣病など）を知り、その悪影響への地域の疾病対策について考える。                | 予習：食事バランスガイドについて調べる。<br>復習：食生活をチェックする。                       | 小田和人                                       |
| 11 | スポーツ・運動時の食事<br>《健康栄養学科》学際         | スポーツおよび健康のための運動において、栄養・食事の果たす役割の大きさと重要性が認識されている。今回は、競技スポーツ実践者や心身の健康維持・増進のために運動を行っている者がどのような食事や栄養素を摂る必要があるかを考える。 | 予習：運動種目の違いにより、食事の摂り方がどう異なるか調べておく。<br>復習：自身が運動した時の栄養の摂り方を見直す。 | 小田和人                                       |
| 12 | 地域にある食の力の活用<br>《健康栄養学科》地域         | 「地産地消」地域の食の力（食環境）を考える。地域にある特産の農産物や伝統的な郷土料理を知る。また、その土地の文化・風習を理解し、町づくりに活用する方法を学ぶ。                                 | 予習・復習：佐世保市や出身地の農産物や郷土料理について調べておく。食環境について調査・整理する。             | 小田和人                                       |
| 13 | 観光とは<br>《国際観光学科》学際                | 観光学の専門性を知るとともに、そこで働く意義を通じて、観光の今日的な課題を知る。                                                                        | 予習：観光とは何か調べる。<br>復習：観光の今日的課題を整理しておく。                         | 落合和昭                                       |
| 14 | 観光に見るスピタリティ<br>《国際観光学科》地域         | 観光におけるホスピタリティの重要性について、その特性や事例紹介を学び、現状や影響について理解する。                                                               | 予習・復習：観光においてホスピタリティを高める方策を考える。                               | 落合和昭                                       |
| 15 | 観光とまちづくり<br>《国際観光学科》地域            | 観光を通じて地域活性化に取り組む地域情報の収集、様々なツーリズム企画の現状、新たな仕組みについて学ぶ。                                                             | 予習・復習：観光を通じて地域活性化に取り組む地域を調査・整理する。                            | 張美慶                                        |